令和７年度　江戸川区立上小岩第二小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	上二の子どもはやり通す 〇やり通す心・・・よく学ぶ子（今年度重点）、思いやりのある子、よく働く子 〇やり通す体・・・よく遊ぶ子、よく運動する子			目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	〇安全・安心な学校、保護者・地域から信頼される学校 〇明るく元気に学び合える児童 〇教職員が協力し合い、互いに磨き合う教師
前年度までの本校の現状	成果	「確かな学力の向上」では、既習事項の確実な定着を行うことによって意識的な取組が少しずつ成果へと結びつき学力向上がみられる。地域資源を活かした教育では、総合的な学習の時間、生活科、理科等と関連付けて、地域への愛着形成を育むことができた。		課題	・学習意欲や基礎学力の向上、体力向上に向けた運動量の確保 ・自ら進んで挨拶や返事をすることや学習習慣が身に付けられるように家庭と連携して取り組むとともに、学校から積極的に情報発信をしていくこと ・主体的に学ぶ児童の育成を目指すために、校内研究会や研修会等を充実させること

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	〇授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・学校と民間事業者による放課後補習教室の実施 ・教員の授業力向上	・放課後補習教室定員までの登録率100% ・校内研修会と研究授業３回・全教員が学期に1回以上授業公開。											
		・週1回の全校一斉朝学習の実施	・児童へのアンケート結果で、80%以上の児童が学力を高めようとしていると回答											
	〇読書科の更なる充実	・公共図書館巡回職員による探究学習の授業の実施	・学期に1回、全学年で実施											
体力の向上	〇個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	・30分の中休みによる外遊びの充実	・児童へのアンケート結果で、日常的に運動している８０%以上児童が回答											
		・毎学期のなわ跳び週間の設定	・全児童がなわ跳び週間に参加											
共生社会の実現に向けた教育の推進	〇ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・巡回指導や特別支援教室専門員の活用、日本語指導員や日本語教室との連携	・毎月1回、通常学級担当教員と特別支援教育担当教員の打ち合わせを実施											
	〇エンカレッジルームの有効活用	・エンカレッジルーム活用の際の校内体制を整備	・教育活動中に校内で対応できる体制が100%整備されている。											
	〇副籍交流	・学校だより等での交流実施	・コーディネーターと連携するとともに毎月学校だよりを校内に掲示											
不登校・いじめ対応の充実	〇豊かな心の育成	・委員会活動や係・当番活動、異学年交流などの充実	・児童へのアンケート結果で、80%以上が異学年交流に意欲的に取り組んでいると回答											
	〇L-Gateの活用	・毎日のL-Gateの記録と観察で児童の実態把握に基づいた指導の推進	・学校生活を振り返る時間を毎日確保し、各学級の実施率100%											
	〇教育相談の強化	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携強化	・不登校児童とのＳＣ、ＳＳＷ連携率100%											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	〇学校（園）ホームページの充実等	・学校ホームページの更新	・毎日更新を実施											
	〇学校関係者評価の充実	・児童、保護者、地域、教職員へのアンケート調査の実施	・年間に1回以上実施											
特色ある教育の展開	〇働き方改革の推進	・月２回以上定時退勤日を各教員が設定	・時間外労働時間が全教員月３０時間以下											
	〇教員研修の実施	・教員の組織的な育成	・年３回の授業観察や校内研究、OJT研修会の充実											